

令和2年11月2日

各位

東北大学 大学院工学研究科
教授 渡邊 豊
東北大学 流体科学研究所
教授 内一 哲哉

東北大学 第7回公開講座
『今、エネルギーを考える』開催について（ご案内）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、東北大学工学研究科は、同流体科学研究所、日本保全学会 東北・北海道支部との共催により、公開講座：第7回『今、エネルギーを考える』を開催いたします。この講座は、エネルギー問題を多面的な視点から見つめ直し、あらためて日本のエネルギー政策を考えていただくための素地を提供することを目的として開催しているものです。

2020年は、新型コロナ・ウイルスの感染拡大により、社会・経済活動が全世界的に大きな影響を受けました。コロナ禍は今なお継続しており、今後の生活様式ならびに産業構造に大きな影響を与え、それらを大きく変化させる歴史的な転換点になる可能性があります。エネルギー需要やエネルギーセキュリティに影響が及ぶ可能性もあります。

このような情勢に鑑み、第7回となる本講座では、『新型コロナ・ウイルス感染症と社会変化』をテーマとして、新型コロナ・ウイルス感染症について公衆衛生学的な側面並びにリスクコミュニケーションの観点から東京慈恵会医科大学 越智小枝先生にご講演をいただくとともに、コロナ禍後の社会変化と期待されるイノベーション像について新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）技術戦略研究センター長 岸本喜久雄先生にご講演いただきます。コロナ禍における、ならびに、コロナ禍後の社会とエネルギーについて考えを深めるためのきっかけにして頂ければ幸いです。

ご多忙のところ恐縮ですが、是非ともご参加を賜りたくご案内申し上げます。

敬白

記

1. 日時：令和2年12月5日（土）13:00～16:15
2. 会場：オンライン開催といたします（Webex meetings 使用）
3. 内容：
 - 講演1 「新型コロナとリスクコミュニケーション」
講師／東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 中央検査部 臨床検査医学講座 講師
越智 小枝 氏
 - 講演2 「コロナ禍後の社会変化と期待されるイノベーション像
～持続可能な社会への転換に向けて」
講師／NEDO 技術戦略研究センター長（東京工業大学名誉教授）
岸本 喜久雄 氏
4. 定員：なし（参加費無料）
5. 申込：令和2年11月27日（金）までに申込み用紙に必要事項をご記入のうえ、メール添付でお申し込み下さい。後日、担当より受付確認のメールを返信いたします。

以上

《お問い合わせ先》

日本保全学会 東北・北海道支部 事務局 担当：堀籠 一恵
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-01-2
TEL&FAX: 022-211-9889 E-mail: north.com@jsm.or.jp

参加申込書

申込日：令和2年 月 日

申込先：日本保全学会 東北・北海道支部 事務局

参加申込書に必要な事項をご記入のうえ、メールにて堀籠^{ほりごめ}（north.com@jsm.or.jp）

宛にお送り下さい。

※参加申込書到着後、1週間以内に参加申込み受付の返信をいたします。1週間を過ぎても返信が無い場合は、大変恐れ入りますが、担当までご一報下さいますようお願い申し上げます。

| 会社・団体名 | 所属・役職名 | お名前（フリガナ） |
|---|----------|-----------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 住所 〒 | 電話番号（ ） | — |
| | FAX番号（ ） | — |
| | メールアドレス | |
| 講演者への質問がございましたらご記入下さい。（※時間の都合等で全てのご質問にお答えできない場合もございます。） | | |

※ご記入いただいた情報につきましては、本講座以外の目的には使用いたしません。

令和2年11月27日(金)までにお申し込みください

<第7回公開講座 「今、エネルギーを考える」>

◆日時：令和2年12月5日（土）13：00～16：15（開場12：30）

◆場所：オンライン開催といたします Webex meetings 使用

◆プログラム

○講演1 「新型コロナとリスクコミュニケーション」

講師／東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター

中央検査部 臨床検査医学講座 講師 越智 小枝 氏

○講演2 「コロナ禍後の社会変化と期待されるイノベーション像

～持続可能な社会への転換に向けて」

講師／NEDO 技術戦略研究センター長（東京工業大学名誉教授） 岸本 喜久雄 氏

《お問合せ先》

日本保全学会 東北・北海道支部 事務局

担当：堀籠一恵

[TEL:022-211-9889](tel:022-211-9889)

FAX:022-211-9889

Email: north.com@jsm.or.jp

◆講演『新型コロナとリスクコミュニケーション』

東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 中央検査部
臨床検査医学講座 講師

越智 小枝 氏

【講演概要】

原子力災害やパンデミックなど目に見えないハザードによって引き起こされる大災害時には、情報の曲解や誤解、恐怖、愉快犯的な「専門家」の出現により、種々の情報災害が生じる。その根本には日本文化に正義・正解・ゼロリスクへの信仰が存在する。情報発信者が「科学的に正しいことを発信しさえすればよい」という考えを捨て、社会にある非科学的合理性を理解し、科学者自身が学ぶためのコミュニケーションを行うことが必要だ。



講師略歴

越智 小枝 (おち さえ)

医師、公衆衛生修士、医学博士

東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座講師

1999年東京医科歯科大学医学部卒業。2011年の東日本大震災をきっかけに、Imperial College Londonで災害公衆衛生を学ぶ。2013～17年に福島県相馬市に移住し現地で医師として勤務する傍ら公衆衛生研究・リスクコミュニケーションを行った。2017年より現職。2020年のCOVID-19パンデミック以降は臨床検査医学の視点も加えた災害時の公衆衛生の課題とリスクコミュニケーションにつき発信を続けている。

◆講演『コロナ禍後の社会変化と期待されるイノベーション像 ～持続可能な社会への転換に向けて』

NEDO 技術戦略研究センター長 (東京工業大学名誉教授)

岸本 喜久雄 氏

【講演概要】

2020年4月に特別チームを立ち上げ、6月に公表したTSC Foresight 短信レポート「コロナ禍後の社会変化と期待されるイノベーション像」の内容を中心に紹介します。コロナ禍後の日本の産業再生を見据えた、社会の変化やデジタル化推進、持続可能な社会への転換の重要性について説明します。



講師略歴#

岸本##喜久雄# (きしもと きくお)

#

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (QHGR) #
技術戦略研究センター (WVF) センター長#

東京工業大学工学部卒業、同大学理工学研究科機械物理工学修士課程修了、同大学工学博士。東京工業大学名誉教授、同大学では副学長 (教育運営担当)、大学院理工学研究科工学系長並びに工学部長、環境・社会理工学院長などを兼務。#

日本機械学会長、日本工学会長、日本技術者教育認定機構副会長などを歴任。#

5353年7月より現職。専門は機械工学、材料力学、計算力学。##